

平成 24 年度第 1 回野洲市総合計画外部評価委員会 会議結果の概要

日 時 : 平成 24 年 12 月 3 日 (月) 午後 3 時～5 時 30 分

場 所 : 野洲市役所 本館 3 階 第 2 委員会室

出席委員 7 名

◇市長あいさつ要旨

平成 24 年 4 月に野洲市総合計画を改訂し、目標に沿った施策を進めており、それに基づく施策の評価をお願いします。まだ評価手法が確立していないことから、評価の手法論、方法論を議論のうえ、具体的に施策を評価願いたい。また、当初から透明性を最大限重視しており、すべての情報を開示するので、評価対象事業以外の市が取り組むサービスや事業に対しても忌憚のないご意見を賜り、展望が開けるような委員会に育てていただきたい。

◇委員の紹介

<出席委員 (五十音順) >

- ・菊地勝正委員 (公募委員)
- ・東郷恵子委員 (公募委員)
- ・豊田則成委員 (びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部教授)
- ・中野桂委員 (滋賀大学経済学部教授)
- ・兵藤友博委員 (立命館大学経営学部教授)
- ・松並典子委員 (野洲市スポーツ推進委員)
- ・村松正治委員 (公募委員)

◇野洲市の概要について

市の概要と市長の施政方針等について、市長によるパワーポイントを使用したのプレゼンテーション。

◇委員長の選出、職務代理者の指名

委員長に兵藤友博委員が選出され、職務代理者に中野桂委員が委員長の指名を受けた。

◇報告事項

①委員会の趣旨説明

資料 1 「野洲市総合計画外部評価委員会について」により、外部評価委員会設置の目的と外部評価委員会の役割などについて事務局より説明。

②総合計画とロードマップについて

資料 2 「第 1 次総合計画改訂版・総合計画ロードマップについて」により、今回評価の対象となるロードマップと、その元となる総合計画の概要について事務局より説明。

◇意見交換

①行政評価について

そもそも行政評価とは何なのか。今回は、総合計画ロードマップを切り口とした施策評

価をめざしているが、次回以降本格的な議論に入る前に、本来の行政評価の目的や効果、課題などについて整理し、我々がめざす評価制度がどうあるべきかその方向性について、事務局の考えを説明した後、委員による意見交換が行われた。

<主な意見等>

- ・内部評価で低い評価をすると、外部評価で指摘されるのではないかと恐れ、多少良い評価をする傾向がある。例えば、有効性が出ていないが、もう少し予算があればうまくいくとか、そもそも仕組みに不具合があるなど、そういう部分を率直に出せるフォーマットを考えていければと思う。
- ・基本目標別での予算バランスなどの資料があれば、そういった部分から気付く点があるかもしれない。
- ・この評価委員会の役割自体が可視化されているようでされていない印象がある。市民にも納得してもらえよう、評価委員会の手順も可視化する必要がある。
- ・どういう手順で進めるのかという部分では、事務局から具体的な提案を出してもらい、段階的に進めていく必要がある。
- ・PDCAを回していく中で、評価委員会の役割が見えてこない。また、到達点が見えてこない。イメージが持てないと市民へのフィードバックもできないので視覚化していくことが必要。
- ・具体的なフォーマットがないと議論できないので、今回は事例研究的な評価のシミュレーションができればよい。
- ・評価が悪い事業でも、違う視点から見ると有効性の高い施策となることもあるので、立体的に評価できる仕組みとしていければと思う。

<意見の整理>

- ・次回委員会までに、今回の意見交換を参考に、進め方や内容について、まずは大きな枠組みの部分で事務局から提案ができればと考える。また、資料等についても提供していくので申し出ていただきたい。

◇今後の進め方について

今年度、本日の会議を含め3回開催を予定している。次回委員会では事務局案をたたき台として検証を願い、第3回委員会で内容を確定していく予定。議論が不十分となることも想定されるが、次回委員会の進捗状況により第3回以降のスケジュールを検討する。

なお、平成25年度のスケジュールについては、今年度最終の委員会で提示する予定。

◇次回会議日程について

○平成24年度第2回野洲市総合計画外部評価委員会

日時：平成25年1月21日（月）午後2時から

場所：野洲市役所 本館3階 第2委員会室

以上